

坂田小学校運営協議会たより

～地域とともにある学校づくりを目指して～

令和8年5月

1 開会のことば

2 校長あいさつ

【学校運営協議会の役割について】

「どのような子どもを育てていきたいのか、学校や地域にしていきたいのか」という目標・ビジョンを共有し、その実現のために、学校運営や必要な支援について協議していく会である。本年度もよろしくお願いいたします。

【これからの学校づくりについて】

働き方改革に関する業務量管理や健康確保実施計画がスタートしている。教員が心身ともに健康で、子どもたちと笑顔で向き合うことができるように、本校においても取り組んでいく。

【健康教育の研究委嘱について】

市より健康教育の研究委嘱を受けた。今まで実践してきた保健安全に関する教育活動を健康教育の観点から再確認・体系化することで複数年に渡る研究の土台作りを行っていく。特色を生かし、さらに充実した取組、持続可能な実践をしていきたい。

3 委員紹介(自己紹介)

地域代表、社会福祉協議会コーディネーター、PTA、学校教職員

4 会長・副会長選出

委員の互選により、石井義雄会長、北村吉住副会長を選出。

5 校内巡り(環境面を中心に)

校舎内(廊下・教室扉・渡り等)→校舎外(うさぎランド・坂田山・学級菜園等)

6 協議事項

① 学校運営の基本方針について(校長)

- ・ 目指す児童像「さかたっこ」
 - ① さわやかな挨拶・返事ができる子
 - ② かんがえて正しく判断し、主体的に行動できる子
 - ③ たがいに思いやり、尊重しあえる子
 - ④ っ
 - ⑤ こんき強く、粘り強く努力ができる子
- ・ 「子どもが主役」をキーワードに「心も体も安心・安全 居場所づくり」「魅力ある授業づくり」「考える力・主体性を育む活躍の場づくり」などを重点努力目標として教育活動に取り組んでいく。

② 環境整備について(校務主任)

- ・ 備品購入希望、設備要望、修繕要望と昨年度の実績報告

【現状と課題】

- ・ 校地の除草、剪定の必要性
- ・ 施設の老朽化
 - フェンス・外壁の剥がれは市がすぐに対応予定。
 - 教室扉は「長寿命化工事」を市が学校ごとに順次行っていく。
 - 廊下Pタイル・坂田山等は学校の予算で修繕を行っていく。

③ 本年度の教育活動について(教務主任)

- ・ あたたかな学級づくり(エンカウンター・心の天気・Q-Uアンケートの実施)
- ・ 学年の枠を超えた関わり合い(たてわり活動の拡充)
- ・ 命を大切にする教育(さかたっこ点検・学校保健委員会・動物ふれあい教室等)
- ・ 豊かな心を育む活動(挨拶運動・飼育、栽培活動・ひまわり畑・読み聞かせ等)
- ・ 子どもが活躍できる場の設定(たてわり活動・当番、係活動・特別活動等)
- ・ 仲間とともに、課題解決する活動を通して学んだことをいかそうとする授業の充実(教師のファシリテートで、試行錯誤からの学びの深化を目指す)
- ・ 個に応じた学びと学び合いを生かした学習活動(ICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指す)
- ・ 体験活動の充実(生き物の飼育・梅ちぎり・梅ジュースづくり・サツマイモ栽培・いもほり・味噌づくり・食育に関わる野菜の栽培等)

④ 地域との連携、協働活動について(教頭)

【ねらい】

- ・ 子どもたちが心も体も元気に通う笑顔あふれる学校を目指し、学校・家庭・地域が手を取り合い、取り組んでいく。

【昨年度の成果】

- ・ 学校をきれいにし、てすることの喜びを感じることができた。(環境整備)
- ・ 中学校生活に向けての円滑な人間関係構築のきっかけを作ることができた。(千代田小学校との交流会)
- ・ 本に親しむ習慣と、豊かな想像力を育むことができた。(読み聞かせ)
- ・ 豊かな心と健康な体づくりを行うことができた。(食育)
- ・ 地域の一員としての自覚を高めることができた。(あいさつ運動やひまわり畑)

【今年度の予定】

- ・ 栽培活動、交通安全教室、環境整備、あいさつ運動、運動会後片付け、ウサギとのふれ合い、千代田小学校との交流、ひまわり畑、幼保との交流、読み聞かせ、味噌づくり、交通立ち番、防災教室、給食試食会等

→ 運営方針について委員の皆さんに承認された。

⑤ 意見交換

Q:坂田小の環境について、メリット・デメリットはあるか。また、市はどのように予算等を考えているのか。

A:自然が豊かで少人数指導ができることがメリットである。一方、敷地が広いため、管理が大変なことがデメリットである。市の予算については、基本、児童数によつての配分となるが、ウサギの飼育費については、他校よりも多く配分してもらっている。

Q:環境整備の募集や報告については地域にどのように周知しているか。

A:チラシを作成し、保護者は連絡用アプリで、地域へは区長さんを通して回覧・掲示等でお知らせしている。

Q:歯科検診はダブルミラー方式になるか。

A:手袋を一人一人交換して行う方式に変更予定である。

Q:防犯ブザーの管理はどのように行っているか。

A:入学式で配付。以降は家庭で管理してもらっている。防犯教室の際などに使い方を確認してもよい。

Q:夏の暑い時期、リュックでの登下校は可能か？

A:登下校は必ずしもランドセルでなければいけないわけではない。子どもたちにリュックでの登下校が可能であるという話をしたい。

6 閉会のことば